

羽田D滑走路の現場にも春の足音

- 春の季節風による工事への影響について -

トピックス

東京国際空港（羽田空港）の4本目の滑走路（D滑走路）建設工事では、年末年始返上で昼夜不休の工事の中、埋立部の地盤改良や栈橋部ジャケットの据え付け作業等も徐々に進み、D滑走路の様相が見え始めてきました。

このような状況において、今年も春の訪れを告げる季節風“春一番”が関東地方に到来し、D滑走路建設現場に工事の一時中断という試練を与えていきました。関東地方では2月23日の昼過ぎより強い南風が吹き、“春一番”が訪れました（気象庁発表）。今年の“春一番”は、各地に交通機関の麻痺や転倒事故など様々な形で影響を残していきました。また、この影響により、D滑走路建設現場においても自然の力を痛感させられる結果となりました。

関東地方に“春一番”の吹いていた2月23日、羽田周辺でも作業中止基準（平均風速10m/秒超）の2倍の平均風速20m/秒近くまで強風が吹きましたが、事前の気象・海象予報に基づいて、工事関係船舶が危険回避（全船退避）していたため、事故等は発生せず、無事に“春一番”を乗り切ることができました。2月26日に吹いた強風も合わせ、約3日分の工事が中断となり、D滑走路建設工事にとっては貴重な施工時間を失うこととなりました。

今後も引き続き、自然条件を熟慮し、安全を最優先に一日も早いD滑走路の完成を目指していきたいと考えております。

（参考）関東地方における春一番とは（気象庁HPより）

次の条件を満たした最初の日。

- 1) 立春から春分までの期間に限る。
- 2) 日本海に低気圧がある。低気圧が発達すればより理想的。
- 3) 関東地方に強い南風が吹き昇温する。（具体的には東京において）
最大風速が風力5（風速8.0m/s）以上、
風向はWSW～S～ESEで、前日より気温が高い。

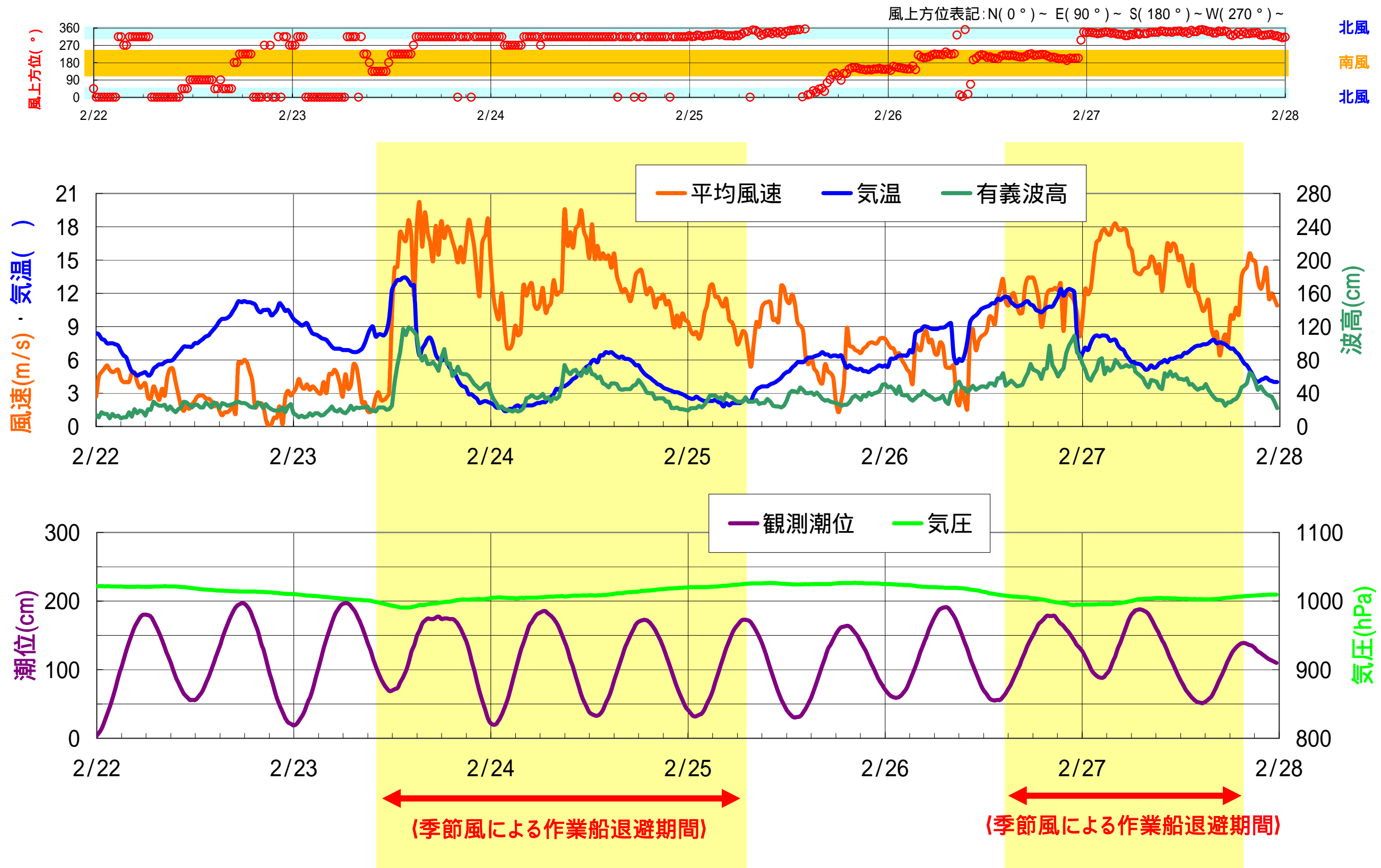
平成20年3月17日

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室 菊池・浦本
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7メンテナンスセンターアネックス5階
電話 03-5756-6573
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

季節風(春一番)によるD滑走路建設現場内の気象・海象状況について



気象予報に基づき、工事用の作業船は荒天になる前に退避。
(データ: 工事区域内の実測値より)